

電波時計 取扱説明書 (掛置兼用時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- 修理部品の保有について
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けした壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

時計、電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

(Y2207)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
必ず守ってください。

- 図記号の説明**
- ⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
 - Ⓛは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- Ⓛ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- Ⓛ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る
 - 傷をつけない。
 - 分解しない。
 - ショートさせない。
 - 充電しない。
 - 加熱しない。
 - 火の中に入れない。
- Ⓛ 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- Ⓛ 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- Ⓛ 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
- Ⓛ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。
- Ⓛ めれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。
- Ⓛ 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。
- Ⓛ 液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。
- Ⓛ 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
 - 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
 - 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。
- Ⓛ 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
 - 直射日光が当たる所。
 - 暖房機器からの風が当たる所。
 - 温度が－10℃以下または＋50℃以上の所。
 - 火気のそば。
 - ほこりが多く発生する所。
 - 強い磁気が発生させる機器のそば。
 - 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
 - プール、温泉場などガスの発生する所。
 - 調理場など多くの油を使用する所。
 - ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(－)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。
(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

🔁 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換が必要になると電池マークが表示されます。電池マークが表示されたときは、早めに新しい電池に交換してください。

⚠ 注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

- Ⓛ 電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

用途について

- この製品は医療や業務用として開発したものではありません。
- 注意表示は、測定条件によって大きく変化します。あくまでも目安としてお使いください。
- 本製品は、温度、湿度の証明など商取引に使用することはできません。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。

保証書	
製品名・型番	
※保証期間 お買い上げ	年 月 日より 1年間
お客様ご氏名	様
ご住所	
TEL () -	
※販売店印(住所、店舗名、電話番号)	

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

※印は販売店記入

- 販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
8. 電池の交換。

(フリーダイヤル)
お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、製品番号(型番)をお伝えください。 例 8RZ〇〇〇

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

熱中症の予防について

日常生活における熱中症予防指針 日本気象学会(2013) 日常生活における熱中症予防指針Ver.3より

製品の表示	温度基準 (WBGT温度)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
	危険 (31℃以上)		高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
熱中症 注意 警戒 嚴重警戒 危険		すべての生活活動でおこる危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
嚴重警戒 (28～31℃)			
熱中症 注意 警戒 嚴重警戒			
	警戒 (25～28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
熱中症 注意 警戒			
	注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。
熱中症 注意			

(28～31℃は28℃以上31℃未満の意味)

上記のWBGTの温度範囲に、測定した温度を直接当てはめることはできません。WBGT温度(暑さ指数)は熱中症予防のための指標で、気温、気流、湿度、輻射熱の4要素の組み合わせによる温熱環境を総合的に評価したものです。本製品のWBGTは温度と湿度からの推定値を使用しています。

注意すべき生活活動強度の目安 日本気象学会(2013) 日常生活における熱中症予防指針Ver.3より

軽い(3.0 METs 未満)	中等度(3.0-6.5 METs)	強い(6.5 METs 以上)
休息・談話 食事・身の回り 楽器演奏 裁縫(縫い、ミシンがけ) 自動車運転 机上事務 乗物(電車・バス立位) 洗濯	手洗い、洗顔、歯磨き 炊事(料理・かたづけ) 買い物 掃除(はく・ふく) 布団あげおろし 体操(強い) 階段昇降 床磨き 垣根の刈り込み	庭の草むしり 芝刈り ウォーキング(107m/分) 美容体操 ジャズダンス ゴルフ※ 野球※ ジョギング サッカー テニス 自転車(約20km/時) リズム体操 エアロビクス 卓球 バドミントン

※野球やゴルフ、ゲートボールは活動強度は低いが運動時間が長いので要注意。
◎METs(メッツ)は身体活動の“強さ”を表す単位です。安静時に対して何倍の身体活動に相当するのかを「6.5METs」のように表します。

ひとくちメモ

熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流(風)、湿度、輻射熱の状態によっても、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

インフルエンザ

湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の動きを弱め、ウイルスによる感染が起り易くなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。

時刻表示形式の切り替え

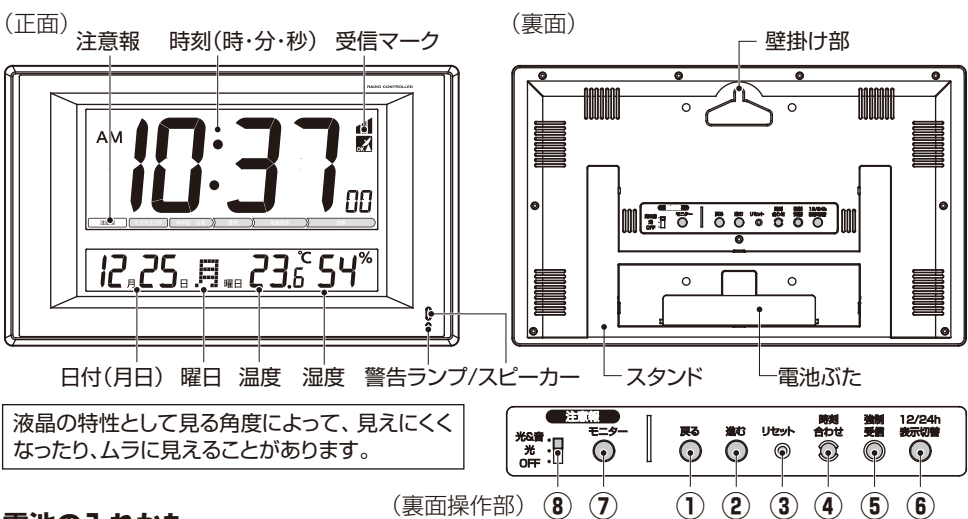
12/24h表示切替ボタンを押すと切り替わります。



※表示の切り替えは、受信中、日時の設定をしているときは操作できません。

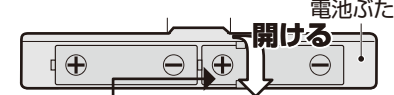
各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。



電池の入れかた

- 電池ぶたを開ける。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単4形アルカリ乾電池を2個入れる
- 電池ぶたを閉じる。



1個目の電池は、左側に入れてから右側に移動させる。

注意 電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

- (裏面操作部)
- | | | |
|--------------|----|---|
| ① 戻る | —— | 手動で日時を合わせるときに使用。操作 押してすぐ離す 押し続ける |
| ② 進む | —— | 戻る 1つ戻る 早戻し
進む 1つ進む 早送り |
| ③ リセット | —— | 押すと2013年1月1日、午前12:00に設定される。電波スイッチがONのときは、受信を開始する。リセットは、細い棒でまっすぐ押してください。 |
| ④ 時刻合わせ | —— | 手動で日時を合わせるときに使用。 |
| ⑤ 強制受信 | —— | 電波スイッチがONのときに押すとすぐに受信を開始します。 |
| ⑥ 12/24h表示切替 | —— | 時刻の表示形式の切り替え。 |
| ⑦ 注意報モニター | —— | 光、音による警告を試すときに押す。 |
| ⑧ 警告スイッチ | —— | 警告の方式を選択。 |

温度・湿度、注意報(インフルエンザ/熱中症)の表示について

注意報は発生の有無を断定するものではありません。空調や体調管理などの目安としてお使いください。また、公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

- 直射日光があたる場所や暖冷房機器、除湿機、加湿器のそばでは、これらの影響を受けやすくなります。
- 設置する高さによっても温度、湿度が変わります。
- 湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがでます。
- センサーが本体内部にあるため、周囲の温度変化をすくには反映しません。
- 測定は1分間隔で行います。
- 電波の受信中は、温度湿度の測定と音や光による警告を行いません。

温度／湿度が測定できないときの表示

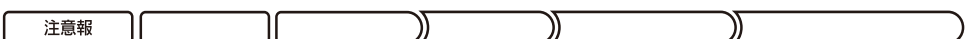
温度「HH.H」50℃を超える高温 「LL.L」-9.9℃未満の低温
湿度「HH」95%RHを超える多湿 「LL」20%RH未満 「--」測定不可

*湿度は温度が5～50℃のときに測定可能

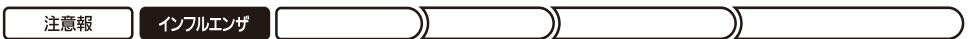
注意報の表示(環境の目安表示)

インフルエンザや熱中症が発生しやすい条件になると対応したマークを表示します。

注意報がないときの表示



インフルエンザマーク



熱中症マーク

注意すべき度合いに応じたマークが表示されます。※裏面「熱中症の予防について」参照



光、音による警告について(警告スイッチ)

- 光&音 警告スイッチを「光」または「光&音」にすると、注意報の状態に応じて定期的に15秒間、音や光(照明)でお知らせします。OFFにすると音や光での警告をしません。
- 光 OFF ①事前にモニター機能で表示や警告がどのように変わるか確認してください。
- ②音量や光の明るさの調節、暗くなると自動停止する機能はありません。

インフルエンザマーク点滅:5分間隔でお知らせします。

熱中症マーク点灯:注意すべき度合いにより鳴りかたや光りかたが変化。5分間隔でお知らせします。

※注意すべき度合いが「注意」のときは、音や光ではお知らせしません。

※注意すべき度合いが変わるときにもお知らせします。

※電波の受信中は、音や光の警告を行いません。

注意報の表示と音と光による警告のしかたを確認する

モニター 注意報のモニターボタンを押し続けると警戒、嚴重警戒、危険、インフルエンザと表示が変わり、それに対応した音と光による警告をします。モニターボタンを離すと止まります。

設置について

注意 一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。粉じんが多い所、水がかかる所、結露する所では使用しないでください。故障や誤作動の原因になります。

- 屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖冷房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- ※ 設置する高さによっても温度、湿度が変わります。一般的な室内の低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。
- ※ 湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがでてきます。

注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛け部以外のところに掛けないでください。

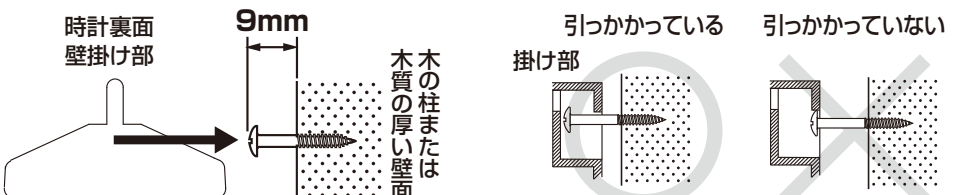
置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。

※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。

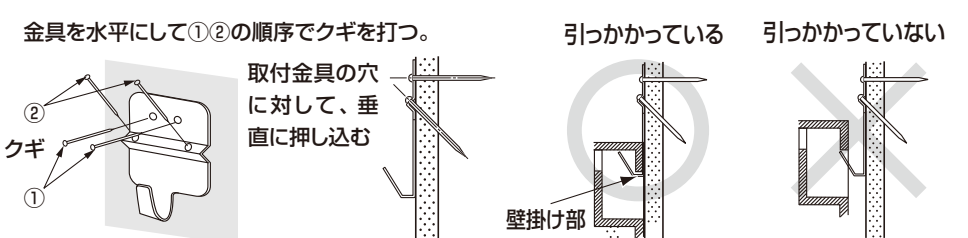
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図のとおり、付属のクギ4本でしっかり固定してください。



- 壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

- 上記以外の壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池は付属しておりません。単4形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

電波を受信して日時を合せる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには「手動での時刻合わせ」をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセットを押した直後〉



受信マーク
〈受信開始〉(受信中点滅)



※電源投入直後およびリセットを押した直後は、2013年1月1日、午前12:00に設定されます。

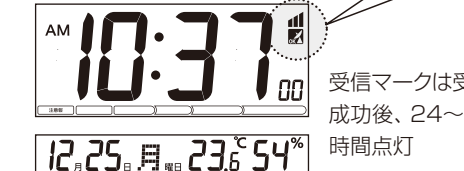
受信マークの変化

電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない 受信しやすい



〈受信終了〉 最長20分後 受信に成功すると受信マークが点灯



(受信に成功したときの表示例)

※受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

※受信に失敗したときに表示されている日時は正しくありません。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。

- 場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわやベランダで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、リセットを押して再度受信を行ってください。

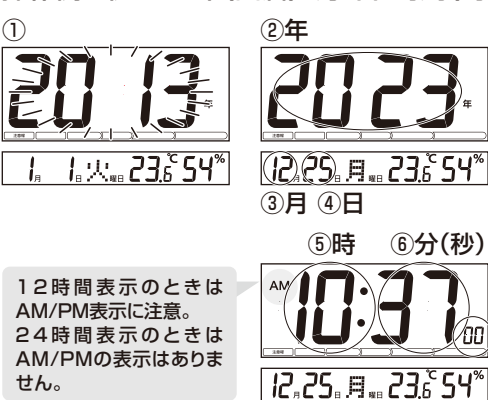
- 時刻を合わせて使用する

手動で日時を合わせて使用してください。

※電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

手動での時刻合わせ … 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。



- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。
- 電波スイッチがONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

操作例:2023年12月25日 午前10:37に合わせる

①年(西暦)が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける。

点滅している数値を進むまたは戻るで合わせてから時刻合わせを押すと数値を確定して次に進みます

ボタン 押してすぐ離す 押し続ける
進む 1つ進む 早送り
戻る 1つ戻る 早戻し

②年(西暦)を合わせる
③月を合わせる ④日を合わせる
⑤時を合わせる ⑥分を合わせる
※⑤⑥のときに「進む」または「戻る」を押すと秒が00になります。
以上で設定は終わりです。

電波受信機能のON/OFF操作

電池が無い状態では、受信機能はONになります。

※OFF状態のときに電池を取り外しても回路内の残留電荷のためすぐにはONになりません。数分間放置してから電池を入れてください。

受信機能 OFF(無効にして手動で日時を合わせる)

リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。

○OFFになるとリセットまたは強制受信ボタンを押しても受信マーク 点滅 を表示しません。

○日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON(有効にして受信を開始する)

戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押して離すと受信マーク 点滅 が点滅して受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。定期的に標準電波を受信して日時を自動修正します。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

強制受信とリセット操作



リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2013年1月1日午前12:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。

強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。次のようなときは受信を開始しません。

- 手動で日時を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

おもな製品仕様

使用温度範囲	－10～50℃(液晶表示可読温度範囲0～40℃) *結露しないこと	
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクオーツ精度)	
推奨電池	単4形アルカリ乾電池 JIS規格 LR03 2個	
電池寿命	約1年 (注1)	
電池交換時期	電池マークを表示	
お知らせ機能		
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正	カレンダー 2013～2099年対応
受信局	福島局/九州局自動選択	温度湿度表示
受信回数	8回/日	測定間隔 約1分間隔
受信開始時刻	1時～4時、13時～16時 各時間帯の16分40秒に開始	温度表示範囲 -9.9～50℃
受信ON/OFF	ボタン操作にて切替可能	温度精度 ±2℃ 温度表示範囲 20～95%RH
防滴防塵機能	なし	湿度表示範囲 20～95%RH
		湿度精度 ±10%RH

(注1) 電池寿命は音や光の警告を停止させたときのものです。音や光での警告を使用した場合、警告の頻度が高くなると電池寿命が短くなります。

(注2) [%RH]は相対湿度を表しています。天気予報など一般的には「%」で表示されています。

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4本、取扱説明書・保証書 本書